

注：指示があるまで開けないで下さい。

## 総合防犯設備士資格認定試験

### 第一次試験(筆記方式)

A 基礎問題 (必須)	
出題	10 問
時間	90 分
配点	1 問 20 点・合計 200 点

受験番号	— —
氏 名	

### 注意事項

1. 座席は指定されています。受験番号を確認して着席して下さい。
2. 机の上には「受験票」「筆記用具」「時計」以外のものは置かないで下さい。
3. **受験番号・氏名は、はっきりと記入して下さい。**
4. 解答は、設問にしたがって記入して下さい。
5. 「試験問題」・「解答用紙」は試験終了後すべて回収します。
6. 試験時間内に退席される場合は、試験問題・解答用紙を机の上に置き試験官の許可を得て静かに退席して下さい。  
ただし、試験開始後30分、および試験終了前10分間は退席できません。  
退席後、試験会場近辺では、静かにお願いします。
7. 試験会場においては、試験官の指示にしたがって下さい。

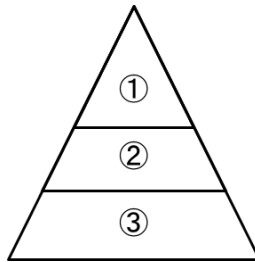


問題－1 (セキュリティについて)

セキュリティポリシーに基づいて行動するためには、三つの階層の文書が必要である。このような階層的な概念構成は、セキュリティの世界のみならず、どのような組織ポリシーの実行においても必要であり普遍的なものである。

下図の三層構造の下二層に該当する適切な言葉を記入例にならって下の解答欄に記せ。

なお、英語表記でも可とする。



①	ポリシー
②	
③	

**問題－2 (セキュリティについて)**

セキュリティの専門家には、セキュリティマネジメントを実施するのに必要とされる能力が要求される。記入例にならってこの能力を四つ記せ。

①	専門知識
②	
③	
④	
⑤	

### 問題－3 (防犯の理論)

合理的選択の理論とは、ビジネスの世界では一つの決断をする前に成否の可能性、実施に必要な費用、成功した場合の成果、失敗した時のダメージなどを検討して決断するのと同様に、犯罪企図者もただやみくもに犯行に走るのではなく、犯行を決断するときには同様の検討を行い、実行するか否かの判断をするとの考え方である。

判断する時の要素として挙げている三つを下表に記せ。

①	
②	
③	

問題－4 (防犯対策の考え方)

防犯対策を検討するうえでは、対象となる施設・建物の各部分、すなわち各領域が防犯上どのような性格を持っているかを整理することが重要である。なお、ここでいう領域とは、使用用途、使用形態、セキュリティの重要度などで区分け整理した区域（エリア、ゾーン）をいう。領域を整理する分類としてその領域の持っている性格に着目した分類と、物理的な場所に着目した分類がある。そのうち「領域の持っている性格に着目した分類」は下記の記入例を含めて四つに分類している。他の三つの分類について記入例を参考に下表を埋めよ。

領域の種類	説明
私的領域	社員など限られた人のみ入館・入室など入域できる領域

問題－5 (防犯対策の構築)

下表の万引きの実態に対する対策を記せ。

実 態	対 策
人垣をつくり一人が万引き	
おとりを使つての万引き	
店内を徘徊しての万引き	
従業員の目の届かないところでの万引き	
道具を使つての万引き	

問題－6 (防犯設備の設計)

下表は、防犯カメラシステムを構築するのに必要な注意点「撮影対象場所」、「設置場所」などの項目ごとに整理したものである。空白部分を埋めよ。

撮影対象場所	通達や条例で指定されている場所、犯罪が発生しやすいと思われる場所、防犯診断の結果脆弱であると思われる場所、それ以外にもカメラによる記録が必要な箇所などを対象とする。
設置場所	
	日本防犯設備協会の画角の選定に準拠し撮影目的に合った画角を選択する
	全ての防犯カメラは RBSS 共通機能を満足する能力を有することが望ましい。 暗い場所や逆光状態への対応、妨害工作への対応など必要な機能を備えたものとする。 撮影場所の照度や求める解像度などを満足する性能を有したものとする。
デジタルレコーダーの選定	

問題－7 (総合防犯監査)

総合防犯監査と防犯審査が相違する内容について空欄を埋めよ。

	総合防犯監査	防犯審査
目的		審査基準に対する適合性の判定
評価項目		審査基準に定められた項目を評価
対象範囲		審査基準に定められた対象に限定
担当者〈実施者〉		審査基準などに定められた資格などを保有する審査人
実施時期		審査基準の設定・改定時。 対象物件の認定資格取得時・新築・増改築時など



## 問題－8（総合防犯監査と防犯コンサルティング）

総合防犯監査に用いる主な監査技法の一つにインタビューがある。監査対象組織体に行うインタビューの内容は、

- ・ 被面談者の職責と権限の確認
- ・ 組織内及び周辺の過去の犯罪事例や想定されるリスクの確認
- ・ 意識している脆弱性、違法性、問題点などの確認
- ・ 現行の防犯対策に対する意見聴取

などである。

インタビュー時（面談時）、監査人が被面談者に接する際、注意しなければならない点を下の例にならって簡潔に記せ。

例： 監査の目的と活用についてわかりやすく説明すること

問題－9（総合防犯1）

総合防犯監査を実施する上で、総合防犯設備士に期待されるヒューマンスキルを、記入例にならって記せ。

	ヒューマンスキル
①	現状認識力
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

問題－１０（総合防犯２）

コンピューターやインターネットなどの、ハイテク技術を悪用した犯罪であるサイバー犯罪の特性を、記入例にならって記せ。

	サイバー犯罪の特性
①	匿名性が高い
②	
③	
④	
⑤	
⑥	